

下郷を味わおう

10月29日(土)に加茂町の“どんどん”において、ほんわかツアアで訪れた下郷農協のおいしいお肉を食べながら「食」「農」について考えるイベントを開催しました。

お肉を食べながら「いのち」について考えました



テーブルを囲んで食育の学習会を行いました。

イベントでは「いのち」をいただいているのだから心をこめて「いただきます」が言えていくかな?箸はきちんと持てているかな?日本が世界で一番たく

さん残飯を捨てているけど生ごみは資源なんだよ。ということ学習しました。

当日は子どもや外国籍の方も含め約40人の方が集まり、食べながら沖繩の歌を歌ったり踊ったりして夜遅くまで盛り上がりました。人は何を食べるかで心と体が出来てきます。

体にいいものを家庭で笑顔いっぱい食べる。これが大切ですよ。食は人を良くすると書きます。まず、おとなが意識することからはじめませんか。

ワーキングホリデーで韓国へ

私は今年の9月までワーキングホリデーで韓国に行っていた。ワーキングホリデーとはその国と日本の青年がお互いの文化を交流するというのが目的で作られたビザで、最高1年間その国に滞在することができる。現在は韓国やオーストラリアなど6カ国とワーキングホリデー制度を組んでいる。

1年もしれば生活資金が必要になるので、その国でアルバイト程度の仕事をするのが許されている。留学ビザではアルバイトが許されていないので本当にその国の文化に親しみたいのならワーキングホリデーがいいと思う。しかし私はワーキングホリデーを利用してはにかかわらずアルバイトをあまりせず韓国語の勉強や友だちとの遊びを楽しんでしま

韓国では年上の人とご飯を食べる時、年

上の人が食べるまで自分には食べないとか、尊敬語で話すなど、きちんと使い分けている。これは年上の人は人生の先輩であり自分よりいろいろな経験や知恵を持っている人であり尊敬の意を込めているからだ。私はこんなことを韓国の友だちから学んだ。日本では年上の人と一緒にご飯を食べても何も気にせず食べたり平気で「ため口」を使ったりする人を見かける。それも仲の良い表れなのだろうが、人生の先輩に対しては失礼な話かもしれない。いろいろな国の文化を学ぶことは自分の文化と比較し、いい所や悪い所を見つけさせてくれる機会になると思う。

.....次号につづく

- Kaori -

「会真リポート」

10月1日(土)に第4回「人権NPO」全国交流会が和歌山市で開催されました。主催者の呼びかけに答えて、ほんわかメンバーとして参加し交流を深めてきました。

自信を持ってアピールすることが大切

この交流会は大府和泉市に活動拠点置くNOP「DASH(ダッシュ)」の呼びかけによって実現したもので、毎年全国落解放研究会全国集会の日程に合わせて開催されています。

第4回「人権NPO」全国交流会に参加して

4回目となる今回は和歌山県和歌山市で開催され、在阪の団体が多かったようです。参加した各NPO団体はそれぞれの活動内容やNPOを取り巻く状況を報告し交流を深めました。「人権NPO」の交流会とごうい

とで、話題の中心は人権啓発や人権尊重を基底にした街づくりなどの報告と交流でした。また活動資金の確保についてはどのNPO団体も苦労しているようで、助成金の申請状況や自己資金確保のための方針などについて様々な取り組みの報告があり、ほんわかとしても貴重な参考意見聞くことができました。

一番感じたことほどの団体もミッション(使命)大切に、自信を持って事業を展開していることでした。私たちがほんわかもさらに自信を持って提供できる事業を創造し、ミッションの達成に努めたいと思いました。

- Hirossam -